

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： HNC-104

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐 リスク	根拠
頭頸部がん	Cetuximab+RT	7日間	8コース	<input checked="" type="checkbox"/> 局所進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	最小度	N Engl J Med 354: 567-78, 2006

	薬品名	投与量	投与 経路	投与 時間	Day						
					1	2	3	4	5	6	7
①	デキサート パラミン 生理食塩液	6.6mg 5mg 50mL	点滴静注	30分	↓						
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓						
③	アービタックス 生理食塩液	400mg/m ² 500mL	点滴静注	120分 (初回)	↓						
	アービタックス 生理食塩液	250mg/m ² 250mL	点滴静注	60分 (2回目以降)							
④	生理食塩液	100mL	点滴静注	60分	↓						

＜注意事項/備考＞

- ✓ RTは、Cmab初回投与1週間後から併用（RT 70Gy/33-35回）
- ✓ セツキシマブ：初回400mg/m²を生食500mLに溶解し2時間かけて投与、2回目以降は250mg/m²を生食250mLに溶解し1時間かけて投与
- ✓ セツキシマブ投与後の経過観察時間について：経過によっては省略可（生食50mL 5分に変更）
- ✓ 検査：定期的な血中Mg値のモニタリングを（適宜Mg補正を）
- ✓ インフュージョンリアクション：初回から2回目に発現することが多い。悪寒、発熱、呼吸困難など。必要に応じて抗ヒスタミン薬やステロイド剤の投与
- ✓ ざ瘡様皮疹：比較的早期から生じる。スキンケアや保湿剤で予防を。必要に応じてステロイド剤の使用

✓ 爪囲炎：遅発性（1か月後～）に生じることが多い。疼痛、爪の発達障害など。洗浄を行い、必要に応じてテーピングや外用ステロイド剤を

∴>>



